

科目名	国際メディア論特講	担当者	ヤスエ 安江 伸夫	期間	通年	単位数	4
-----	-----------	-----	--------------	----	----	-----	---

【科目概要】

目的	本講座は、民主主義社会を維持する上で不可欠なメディアの特質を修得（一般目標(GIO)）することにより、行動目標 (SB0s) に示すメディアが発信する内容を理解し活用する能力を身につけることを目的とする。															
到達目標	<p>【一般目標 (GIO)】 議論を先行させるアジェンダ設定機能がメディアに備わることについて理解する。 アジェンダ設定機能に、SNS 時代も戦争にメディアが加担した戦前も、メディア企業・政治権力・民衆も、様々な形で関わってきた。 本講座では、玉石混交のメディア情報から有益な情報を抜く方法を修得する。 政治や社会に疑問の声を上げる高い倫理観を創造する。</p> <p>【行動目標 (SB0s)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①民主主義とは、常に問題点を指摘し修正できる仕組みである。 そこでジャーナリズムが果たすべき役割を説明できる。（知識・想起） ②玉石混交のメディア情報から有益な情報を抜き、構築する方法を修得する。（技能） ③政治権力・経済発展・ジャーナリズムをメディアと関係づけて説明できる。（知識・解釈） ④メディア（新聞から SNS）、社会形成、政治権力の変容を測定する技能が得られる。（技能） ⑤メディアは自國に有利な情報を国家が発信する道具としても使われる事を知る。（知識・解釈） ⑥格差や多様性による社会分断がメディアの分断と同時進行していることを知る（知識・解釈） ⑦日本と米国、現代と戦前のメディア状況に、得た知識を応用し説明できる。（知識・問題解決） ⑧政治体制やメディア環境の異なる社会との意思疎通に、必要な人間力が身につく。（態度） 															
学修方略 (方法)	<p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基本教材及び参考図書等を熟読する（自習）【SB0①&②】 ・課題に沿って、事例やデータを収集し、問題点を抽出、分析する（自主研究）【SB0②&③】 ・抽出した問題点を論ずるに必要な文献・資料を検索・整理し、それに対する考え方をリポートとしてまとめる（リポート作成）【SB0②&③&④】 ・上記の過程で、manaba folio の掲示板機能を利用した、受講生同士のディスカッション、あるいは複数回にわたって行われるリポート添削での、教員と受講生とのディスカッション、メールなどで疑問点に関し、相談・質問する。（ディベート）【SB0②&③&④&⑤】 <p>【学修方略 (LS) と学修時間】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・課題リポート 1 本につき最低 45 時間の学修時間を要する。 ・基本教材・参考文献の読み込み、データの探索：20 時間 ・リポート執筆：10 時間　　・リポートの推敲、教員の添削指導：15 時間 <p>1 科目 4 単位に対し、45 時間 × 4 の時間が必要ということになる。</p>															
スケジュール	<p>前期【教材 1】：「草稿」提出：リポート課題 1 は第 11 回（7 月中旬）、課題 2 は第 13 回（7 月下旬）。 「最終稿」は、リポート課題 1、課題 2 のいずれも「学事歴で定められた日」までに提出する。</p> <p>後期：【教材 2】：「草稿」提出：リポート課題 1 は第 11 回（1 月初め）、課題 2 は第 13 回（1 月中旬）。 「最終稿」提出：リポート課題 1、課題 2 のいずれも「学事歴で定められた日」までに提出する。</p>															
成績評価	<table border="1"> <thead> <tr> <th>種別</th> <th>割合</th> <th>評価基準</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>リポート</td> <td>80%</td> <td>リポート内容を、問題設定・論理的展開・歴史的展開・問題提起の面から検討し、全体の記載方法、注・参考文献の適切性・記載方法、最新の研究の反映や、ご自身の研究分野との関連性などを評価する。</td> </tr> <tr> <td>観察記録</td> <td>20%</td> <td>スケジュールの順守の度合い、メールの送受信の状況、質疑応答の内容などを勘案する。</td> </tr> </tbody> </table>							種別	割合	評価基準	リポート	80%	リポート内容を、問題設定・論理的展開・歴史的展開・問題提起の面から検討し、全体の記載方法、注・参考文献の適切性・記載方法、最新の研究の反映や、ご自身の研究分野との関連性などを評価する。	観察記録	20%	スケジュールの順守の度合い、メールの送受信の状況、質疑応答の内容などを勘案する。
種別	割合	評価基準														
リポート	80%	リポート内容を、問題設定・論理的展開・歴史的展開・問題提起の面から検討し、全体の記載方法、注・参考文献の適切性・記載方法、最新の研究の反映や、ご自身の研究分野との関連性などを評価する。														
観察記録	20%	スケジュールの順守の度合い、メールの送受信の状況、質疑応答の内容などを勘案する。														
履修者への要望	<p>日本が海外からどう見られているかを知るため、ニューヨーク・タイムズ（ネット版）の日本に関する記事を読むことを勧める。日本メディアが「転載」した米メディアの日本に関する日本語記事でもよい。ただしその場合は、転載したメディアによってバイアスがかかることを認識すること。国内メディアではテレビのほか、新聞は左派の『朝日新聞』、右派の『産経新聞』、経済界よりの『日本経済新聞』を 3 紙読むことを勧める。</p>															

【リポート課題】

基本教材 1	
教材の概要	<p>著者名： 石澤靖治 編著 教材名： 『政治コミュニケーション概論』(ミネルヴァ書房, 2021年)</p> <p>権力・メディア・民衆の関係を俯瞰的に捉えた。米国で駐在記者経験のある日本人研究者らがメディアやジャーナリズムを論じた教科書的な良書。国際社会における日本の立ち位置が見える。</p>
参考図書	<ul style="list-style-type: none"> ・ビル・コヴァッヂ, トム・ローゼンスティール (奥村信幸 訳)『インテリジェンス・ジャーナリズム：確かなニュースを見極めるための考え方と実践』(ミネルヴァ書房, 2015年) ・芹川洋一, 佐々木毅『政治を動かすメディア』(東京大学出版会, 2017年)
履修上のポイント	メディアには議論を先行させるアジェンダ設定機能がある。メディアを使って報道機関は権力を監視し（ウォッチ・ドッグ）、民衆によりそい（グッドネイバー）。また日々起きていることを記録し社会の空気を共有する（ジャーナリズム）。一方、政治権力は民意を誘導し求心力を得るときにメディアを使う。国際社会に自国に有利な情報を発信するのにも使う。情報は商業利益と結びつき、メディアは産業発展や経済活動のツールとしても有用になる。出演する政治家のシーンのアクセス数・視聴率は本人の支持率と一致符合する。しかし私たちが問題意識を持たねば、読者やスポンサーが要求する記事や、権力者が民衆に阿るポピュリズム的な記事が席巻する。ファクトとエビデンス（根拠）をどう追求しフェイクを見抜くかを学ぶ。
リポート課題 1	<p>事実でも解釈を曲げた偏向情報やフェイクニュースが溢れる中で、事実をどうすれば等身大で認識できるか。具体的な方法を論ぜよ。思い込みを可能な限り排除し論じること。（3000字程度）</p> <p>留意点：感情によって情報がどう歪曲されて行くか。商品として消費される中で客觀性はどう保たれるのかを考える。オーディエンス・有権者である民衆のあるべき姿にも留意する。</p>
リポート課題 2	<p>日本のメディアが伝える米国（か中国）に関する国際報道において、偏向していると思われる具体的事例を1つ挙げよ。どこが偏向か、何が背景にあるか。考えたことを論ぜよ（3000字程度）。</p> <p>留意点：どの国の国際報道も読者を意識したステレオタイプが常に働いていることを認識する。</p>

基本教材 2	
教材の概要	<p>著者名： 坂野潤治 教材名： 『帝国と立憲 日中戦争はなぜ防げなかったのか』(筑摩書房, 2017年)</p> <p>日本の第二次大戦敗戦は一義的には政府の失敗だ。だがメディアにも大きな責任があった。今日的に考えれば瑕疵や隠蔽、暴走を見極め報道するのがメディアの仕事だ。だが、メディアが機能しなかった背景にあったのは言論統制だけではない。普通選挙で有権者が増えた。国内では政治に発言権を。世界には「一等国」としての発言権を求めた国民の熱狂がある。政治が国民にアリ、メディアが煽って売り、軍部が対外拡張に利用した。先の大戦では日本政府に大きな戦略ではなく精神論が優先した。メディアは敗戦に気づきながら、最後までその経緯を伝えなかつた。“立憲主義”は帝国主義を止められなかつた。</p>
参考図書	<ul style="list-style-type: none"> ・三浦瑠麗『シビリアンの戦争 デモクラシーが攻撃的になるとき』(岩波書店, 2012年) ・NHKスペシャル取材班『日本人はなぜ戦争へと向かったのか：メディアと民衆・指導者編』(新潮文庫, 2015年) ・朝日新聞社取材班『新聞と戦争』(朝日新聞出版, 2011年)
履修上のポイント	基本教材 2 が扱う現象は、今日でも、隣国との外交摩擦でも、どの国でも起こりうる。応用して考えるきっかけにしたい。権力者は自国に有利な情報をメディアに提供する。メディアを使い国民を動員するのが狙いだ。政治家は支持を狙って民衆に阿るポピュリズムに走る。民衆は弱腰の政治家やメディアを突き上げ、タカ派に期待する。そこにメディアの商業主義がはまる。“景気の良い”記事が溢れる。
リポート課題 1	<p>メディアが戦争に反対する記事を書けば良識者は高く評価する。だが読者の多くはその反対記事を読まないのではないか。このメディアと民衆の共犯関係はなぜ生まれたのか。新聞とラジオの競争、政治参加した民衆のリテラシー、日本のナショナリズムに言及して論ぜよ。（3000字以上）</p> <p>留意点：日露戦争後の1905年にはボーツマス条約に抗議したデモが暴徒化し、官庁や新聞社を襲う日比谷焼き討ち事件が起きた。太平洋戦争前の1939年には、中国を支援する英米に抗議するデモが英国大使館前で起きた。いずれも日本政府の弱腰を批判した。</p>
リポート課題 2	<p>中国や韓国との摩擦をめぐって今日、政治家や政府はメディアをどう使わっているか。私たち民衆はメディアに何を期待しているか。具体的に例を挙げ、気付いた教訓を述べよ。（3000字程度）</p> <p>留意点：SNS時代の今日は、情報が拡散されるスピードがはるかに速い。民主主義体制の中でメディアや民衆に何ができるかに留意する。</p>

基本教材 1

第 1 回	学ぶべき課題について全体的に把握すべく、教材に基づく学修①（通読）を行う。
第 2 回	教員と意見交換し、教材に基づく学修②を行い、リポート作成までの工程表を作成する。
第 3 回	教材に基づく学修③を行い、リポート課題 1 のテーマを考察する。
第 4 回	教材に基づく学修④を行い、リポート課題 1 の関連参考図書を涉猟する。
第 5 回	教材に基づく学修⑤を行い、目次を作成する。
第 6 回	教員と意見交換し、教材に基づく学修⑥を行い、リポート作成までの工程表を再検討する。
第 7 回	教材に基づく学修⑦（通読）を行い、リポート課題 2 のテーマを考察する。
第 8 回	教材に基づく学修⑧を行い、リポート課題 1 と課題 2 の関連を考察する。
第 9 回	教材に基づく学修⑨を行い、リポート課題 2 の関連参考図書を涉猟する。
第 10 回	教材に基づく学修⑩を行い、リポート課題 2 の目次を作成する。
第 11 回	リポート課題 1 について考察した内容をまとめ、初稿（草稿）を提出する。
第 12 回	リポート課題 1 に係わる教員の指摘・指導を受け、リポート課題 1 を作成する。
第 13 回	リポート課題 2 について考察した内容をまとめ、初稿（草稿）を提出する。
第 14 回	リポート課題 2 に係わる教員の指摘・指導を受け、リポート課題 2 を作成する。
第 15 回	リポート課題 1 ・ リポート課題 2 の最終稿を提出する。

基本教材 2

第 1 回	学ぶべき課題について全体的に把握すべく、教材に基づく学修①（通読）を行う。
第 2 回	教員と意見交換し、教材に基づく学修②を行い、リポート作成までの工程表を作成する。
第 3 回	教材に基づく学修③を行い、リポート課題 1 のテーマを考察する。
第 4 回	教材に基づく学修④を行い、リポート課題 1 の関連参考図書を涉猟する。
第 5 回	教材に基づく学修⑤を行い、目次を作成する。
第 6 回	教員と意見交換し、教材に基づく学修⑥を行い、リポート作成までの工程表を再検討する。
第 7 回	教材に基づく学修⑦（通読）を行い、リポート課題 2 のテーマを考察する。
第 8 回	教材に基づく学修⑧を行い、リポート課題 1 と課題 2 の関連を考察する。
第 9 回	教材に基づく学修⑨を行い、リポート課題 2 の関連参考図書を涉猟する。
第 10 回	教材に基づく学修⑩を行い、リポート課題 2 の目次を作成する。
第 11 回	リポート課題 1 について考察した内容をまとめ、初稿（草稿）を提出する。
第 12 回	リポート課題 1 に係わる教員の指摘・指導を受け、リポート課題 1 を作成する。
第 13 回	リポート課題 2 について考察した内容をまとめ、初稿（草稿）を提出する。
第 14 回	リポート課題 2 に係わる教員の指摘・指導を受け、リポート課題 2 を作成する。
第 15 回	リポート課題 1 ・ リポート課題 2 の最終稿を提出する。